

水道料金減免の延長 予約制乗合タクシーの導入 力を合わせ実現しましょう！

宇治市議会12月議会に市長は、国の「物価高騰対策給付金」3億円を活用して、水道料金の基本料金とメーター使用料の2期分(4ヶ月分)を半額減免する補正予算を提出しました。また、来年度当初予算に計上し「移動手段の確保のために、エリアを決めて試行運行を実施する」と表明しました。

党議員団が繰り返し求めてきた「水道料金の減免」「移動手段の確保」。一步前進です。さらに充実させていくために頑張ります。

水道料金基本料・メーター使用料 半額減免(4ヶ月分)さらに延長を

物価の高騰が止まりません。今年に入ってからも生鮮食品を除く6千品目以上が値上がり、ガソリンも1ℓ180円を超えていました。キャベツや白菜などの野菜類も上がり続け、市民の暮らしや地域経渓に深刻な影響を及ぼしています。

政府は、補正予算で「物価高騰対策給付金」3千億円を地方自治体に交付することを決め、3億円が宇治市に交付されます。

市は開催中の12月議会補正予算で、2億4千万円を使って、水道料金の基本使用料、メーター使用料を4か月間、半額減免すると提案しました。

減免期間は一

2025年度第1期、2期の4ヶ月分。
偶数月検針地区は4月検針分(2、3月使用)から
奇数月検針地区は5月検針分(3、4月使用)から

市の水道料金は2023年、コロナ禍と物価高騰で市民の生活が大変なときに、市長が14.4%も値上げすることを提案し、自民・公明・うじ未来・維新・京都宇治党が賛成し可決しました。

党議員団は値上げに反対し、繰り返し、値下げを求めてきました。さらに減免期間を延長させていくために頑張ります。

「移動手段の確保」へ「エリアを 決め、試験運行」一步踏み出す

市はこれまで、「宇治市は14の駅があり、バス・タクシーが走り、公共交通の便利な街」だとして、市民の声に背を向けてきました。

しかし今、市内全域で、出かける手段がなく「通院も買い物も市役所へも行けない。家に引きこもっている」「何とかしてほしい」と悲鳴が上がっています。「移動手段の確保」は、市民の署名活動や市長選挙でも大きな争点となるなど、喫緊の課題です。こうした動きの中で市はやっと、対策に乗り出ことになりました。

「予約制乗合タクシー」の実施を求める

市長は市長選挙後の記者会見で、「移動手段の確保は、来年度当初予算に向けて、エリアを決めて試験運行をしていく」と述べました。

党議員は12月議会一般質問で、「エリア」や「住民の負担」など、実証運行の内容について質しました。しかし市は、「これから検討」という答弁。

一番効率的な「予約制乗合タクシー」の導入を求めましたが市は、「多様な運行形態がある」としか答弁しませんでした。

皆さんの声を届け、実態に合う「移動手段の確保」、予約制乗合タクシーの実現へ頑張ります。

日本共産党
宇治市会議員団

議員団だより 2025年1月26日号
宇治市宇治琵琶33 宇治市役所内
Tel: 0774 - 22 - 3141 (内戦2817)
Fax: 0774 - 24 - 7884

共産党議員団への
ご意見・ご相談

